

経営のヒント37 期待と評価！

認知と評価と競争の関係！

期待される」と人は頑張れる！・・・やる気の秘訣

君、まだいたのかね」と社内ではいわれると辞めたくなくなる。存在を無視されることが、組織の中で最も辛いことだ。反対に、自分の思い以上に存在を認められると頑張れるのも人間だ。プロ野球の野村監督の話で以前に聞いたことがある。最初、テスト生で当時の南海に入団した。実力を発揮できないままの状態が続き、あと1ヶ月くらいで契約切れになる頃のことであった。当時、監督であった鶴岡さんが素振りの練習中「おい、野村。最近頑張っているんだってなあ。」と声を掛けてくれた。自分としては、あと少しの期間でクビになるし、落ち込んでいたときである。ましてや監督が名前を覚えていてくれたとは考えもしなかった。その後の素振り練習はとても気分が良く、前向きに取り組めた。それからいろいろな経験を積みながら今日に至るが、あのかの鶴岡監督の一言がなかったら、今日の自分はなかったと思うという話であった。

人はまず認知され、評価を受けることによって競争心が起こり、頑張るものである。認知され評価をえて、競争ができるようにするのがマネジメントのルールである。

私の経験でも、社会人2年目の頃が思い出せる。上司の命令で仕方なく札幌に転勤させられ、少しくさっていた。そんな時、本社から実質NO2の小泉事業本部長が札幌に来て、通りがかりの私を見て、「おい、細川、お前は実家が九州だったな。両親は元気か。お前なこと、期待しているからな！」と一言、言われたのが今でも思い出せる。その後十数年し、ソニー生命に転職し挨拶に伺うと、その後の人生を左右する貴重なアドバイスを頂いたこともある。今でも私の中で、「その時、歴史が変わった！」という強い印象に残っている人物である。

カルロス・ゴーン氏もCFT(クロス・ファンクショナル・チーム)の立ち上げの時、熱く自分の思い・情熱を語り、そして最後に一言。

「僕は君たちに、期待しているからね！」

その一言が、どれだけ勇気付けられたか？・・・想像しても「魂が震える」と感じます。

いかがですか？あなたは、部下に「一言、心配り」していますか？
？？部下はトップの一挙手一言を見えています。感じています。
・・・やはり誰もが「期待」「評価」されたいのです。

「頑張れよ！」と期待しているよ！」よく似た言葉です。
しかし、部下の立場から感じると違うのです。
「期待しているよ！」・・・勇気が出るのです！やる気が高まるのです！
そして「頑張ったな！」・・・評価されると、「又、この人のために頑張るぞ！」と思うのです。
言葉の魔術・・・常に部下の立場で「言葉の感じる意味」を考えましょう。